

た——誰に見せよか、見せたいものは、小志貴神社の獅子おどり（獅々舞）

れ——れんげ花咲く小高い丘に、周防明神　くぬぎ塚（くぬぎ塚）

そ——そんな事件は忘れたように、安洞霊神火防祭（安洞霊神）

つ——常に部落の平和の為に、滝見観音おわします（滝見観音）

ね——寝てもさめても乳大銀杏　子育て母の悩み解く（乳銀杏）

な——ならの都に思いを馳せし　小手姫ゆかりの小手の里（小手郷）

ら——らんぷ時代の恋しいむかし、慶応三年供養塔（供養塔）

む——むかし寛政　清水お寺、亡霊供養の宝篋塔（宝篋塔）

う——うむを言わずに薬師を信じ、生身埋めしおばあちゃん（わらび平の薬師様）

え——えにも書きたし歌にもよろし、愛宕神域……恋の苑（愛宕さま）

の——のぞきこんでも影さえ見えぬ、みこが渚かよ、水濁る（みこが渚）

お——おての糠田の大日如来、古い歴史の由緒あり（大日如来）

く——くめどつきない女神の清水、先祖代々山守る（女神の清水）

や——八重野いずこと涙で呼んだ、恋に悲しいよばり石（呼り石）

ま——待っていたのか二人の影が、そっと寄り添う月見橋（月見橋）

け——けさもゆうべもひとりで泣いた、原のあみだの石ほとけ（原の石仏）

ふ——ふたり並んで布川行けば、不動明王にらみたつ（不動さま）